

What's SHIZU-GIN?

第112期 営業のご報告

2018
JUNE



第13次中期経営計画

Tsunagu
～つなぐ

CONTENTS

- | | | |
|---------------|-------------------|-----------------|
| 1 Top Message | 9 地方創生への取り組み | 15 環境への取り組み など |
| 3 第13次中期経営計画 | 13 Shizugin-ship | 17 第112期 営業のご報告 |
| 5 営業のご報告 | 14 コーポレート・フィランソピー | 21 決算情報 |



地域とともに新たな価値を創造し続ける『しずぎん』

企業理念 | 地域とともに夢と豊かさを広げます。

頭取 柴田久

現在、私たちが取り組んでいる第13次中期経営計画「TSUNAGU つなぐ」は、変化が激しく将来を見通すことが困難な時代において、静岡銀行グループが「いま何を、どう行動すべきか」を明確に定めた指針です。同時に、いかなる環境においても、常に地域に寄り添い、地域とともに成長を目指すという、私たちの強い決意を示したものでもあります。

初年度となる2017年度の取り組みは本誌でお示した通りですが、お客さまのニーズに基づき最適な商品・サービスを提供する「マーケットインの発想」を全面的に取り入れた営業体制のもとで意欲的に事業を展開し、預金、貸出金ともに順調に増加しました。

いくつかの取り組みをご紹介しますと、まず、静岡県を中心とする営業基盤であるコアビジネス領域において、事業内容や成長性などを適切に評価する事業性評価に基づく融資や、各種補助金の申請支援、ビジネスマッチングなど、静岡銀行グループが持つネットワークを最大

限に活用したさまざまな事業支援に取り組みました。とくに、多くの企業にとって喫緊の課題である事業承継に対応するため、本部内に相続・事業承継相談担当者を配置して、経営の承継と財産の承継を法人・個人の担当者が一体となってご相談に応じる体制を整備し、地域経済の活力を将来へつなぐ取り組みを強化しました。

また、主としてインターネットを介し、全国区で営業を展開するネーションワイドマーケットでは、戦略の基盤であるインターネット支店が多くのお客さまからご支持いただき、20万口座、預金残高5千億円の規模に成長しました。くわえて、完全非対面完結型の住宅ローンや法人向け専用ローンの取り扱いを開始したほか、スマートフォン専用アプリ「しずぎんSTATION」を大幅にリニューアルし、機能と利便性の向上を図るなど、非対面チャネルにおけるサービスの拡充に努めました。

さらに、変化の時代を切り拓く新たなビジネスモデルの構築に向けて、独自の方向性で進

めてきた異業種企業との連携や、事業領域拡大に向けた取り組みも強化を図りました。マネックスグループやほけんの窓口グループなどの業務提携先との連携を深める一方で、先端技術を有するベンチャー企業とのネットワーク活用を視野に、シリコンバレーの「WiL」が組成したベンチャーファンドに新規出資しました。あわせて、新たなビジネスパートナーを開拓するべく、業務提携先であるマネーフォワードの協力のもと、AIなどの先端技術に強みを持つ異業種企業との交流会を開催し、従来の銀行の発想にはない新たな金融ビジネスの創出に向けて着実に歩を進めました。

さて、頭取就任以来、私が大切にしている言葉に「不易流行」があります。不易とは「永遠に変わらない本質」、流行とは「時代の変化に合致する新しさの追求」です。地域金融機関にとっては、「どのような時代にあっても地域経済の安定と発展に貢献していくこと」が社会的使命であり、存在意義でもあります。つまり、私

たちにとって「地域」こそが「不易」であり、その「地域」のために、時代の変化に歩調を合わせて、あるいは変化を先取りして自らのビジネスモデルを変えていくことこそが「流行」なのです。この「流行」を生み出す原動力はほかならぬ従業員であり、その育成は静岡銀行グループが持続的な成長を遂げていくための鍵となります。そこで、本年度は「人材育成元年」と位置づけ、専門的な金融知識・スキル向上を図る教育にくわえ、真にお客さまの目線を体得し、銀行グループ、ひいては地域を牽引できる人材の育成を目的に、県内のお取引先企業の7社に行員を派遣する制度を開始しました。

たった一日、たった一歩の遅れがあったという間に取り返せない差となる今の時代において、グループ企業の総力を結集し、変化に先んじるスピード経営により、お客さまのご期待にお応えしてまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご理解とご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

目標とする指標

		2019年度計画
収益性指標	連結経常利益	770億円以上
	連結当期純利益	540億円以上
効率性指標	連結ROE	6%程度
	連結OHR	55%程度
健全性指標	連結普通株式等Tier1比率	14%程度
投資家向け指標	株主還元率	中長期的に50%程度

ビジョン Innovative Bank ～地域とともに新たな価値を創造し続ける『しずぎん』

4つの基本戦略を「コアビジネス」「首都圏」「ネーションワイド」の3つの事業領域で推進します。

あわせて、「収益」「人」「チャネル」の3つの構造改革に取り組み、ビジョンを実現します。

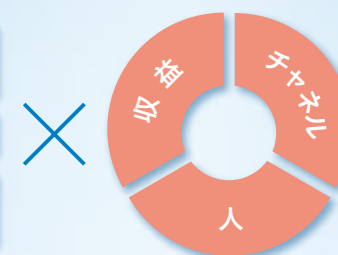
4つの基本戦略

- 1 地域経済の成長にフォーカスしたコアビジネスの強化
- 2 事業領域の開拓・収益化による地方銀行の新たなビジネスモデルの構築
- 3 チャネル・IT基盤を活用したセールス業務の変革
- 4 地域、お客さま、従業員、株主の夢と豊かさの実現を応援する

事業領域

- コアビジネス
(静岡県を中心とする地域)
- 首都圏
- ネーションワイド
(全国展開)

構造改革



新たなビジネスモデルの創造に向けて

●「先端金融ビジネス異業種交流会」を開催

2018年3月1日

資本業務提携先であるマネーフォワードの協力で、AIなど先端技術に強みをもつベンチャー企業7社を招き、新たな金融サービスの創出に向けた交流会を行いました。



●新しい部署を設置

2018年4月2日

先端技術の研究・活用化、異業種との連携、マネー・ローンダリングやテロ資金供与の未然防止対策の強化、非対面取引のサービス拡充などに取り組みます。

- デジタル戦略企画グループ
- 事業戦略ALMグループ
- マネロン等金融犯罪対策統括室
- ダイレクトローンセンター ▶ P.7

Webサイトをリニューアル

「口座開設」「店舗・ATM」「手数料一覧」「よくあるご質問」などのアイコンからスムーズに目的のコンテンツをご覧いただけます。

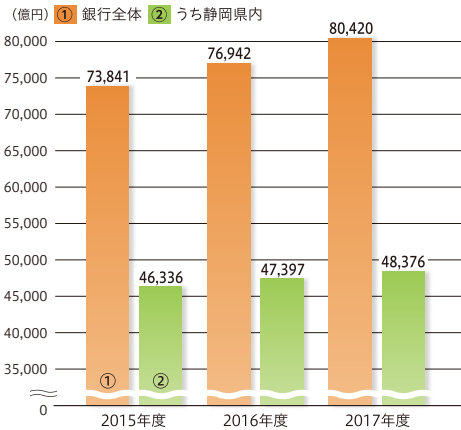
また、スマートフォン用アプリ「しずぎんSTATION」は機能を拡充し、さらに便利になりました。▶ P.8



貸出金

2017年度の貸出金の残高(平残)は前期比3,478億円増加し、8兆420億円となり、このうち静岡県内向け残高は979億円増加し4兆8,376億円となりました。

貸出金残高(平残)の推移

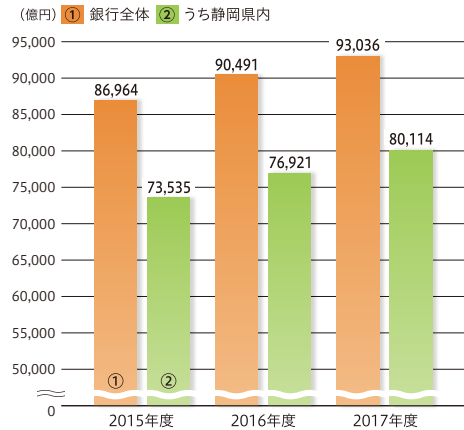


貸出金(平残)のうち静岡県内の割合 **60.2%**

預金

2017年度の預金残高(平残)は前期比2,545億円増加し、9兆3,036億円となり、このうち静岡県内の残高は3,193億円増加し、8兆114億円となりました。

預金残高(平残)の推移

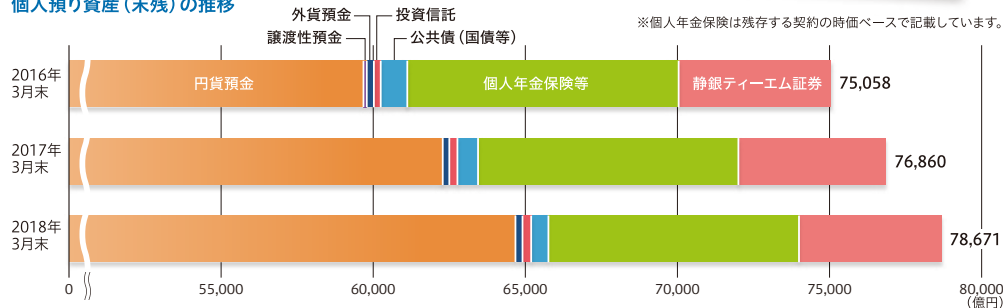


預金(平残)のうち静岡県内の割合 **86.1%**

個人預り資産

2018年3月末の静銀ティーエム証券を含む個人預り資産の残高は前期末から1,811億円増加し、7兆8,671億円となりました。

個人預り資産(末残)の推移



※個人年金保険は残存する契約の時価ベースで記載しています。

ソリューション営業

「事業承継」「医療・介護」「環境」「海外進出」「農業」などの分野で、お取引先の成長につながるソリューションを提供しています。

※関連融資額は2017年度実績

関連融資額 187億円

農業経営アドバイザーの資格をもつ行員14名を本部、地区カンパニー、営業店に配置



農業



医療・介護

関連融資額 713億円

医療経営士25名・介護福祉経営士17名を本部、地区カンパニー、営業店に配置



関連融資額 316億円

環境格付融資・私募債などを通じた資金供給

関連融資額 147億円

海外拠点にくわえ、アジア地域やメキシコで現地の金融機関と業務提携を締結しお取引先をサポート



海外進出



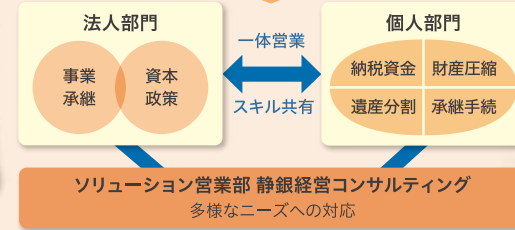
事業承継

関連融資額 506億円

株式移転、M&A等による幅広い事業承継支援等

お客様の「想い」に寄り添い、お客さまとともに最適な解決策を考えます

2017年10月作成
法人・個人の両面から
事業承継と相続について
わかりやすく解説



ソリューション営業部 静銀経営コンサルティング
多様なニーズへの対応

東海財務局「金融仲介の質の向上に向けたシンポジウム」 柴田頭取が事業承継事例を紹介

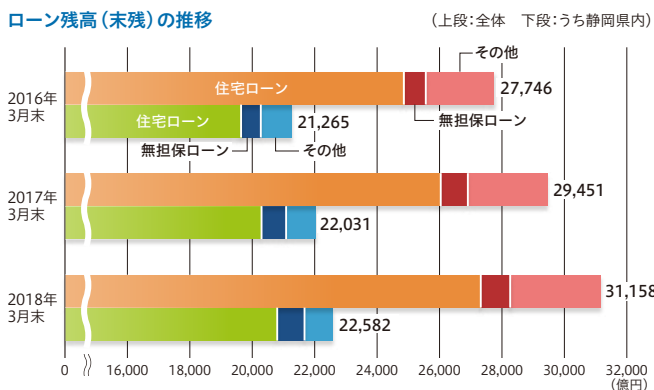
2018年3月13日(名古屋)

地域密着型金融の取り組みに関する知見・ノウハウの共有化を目的として開催されたシンポジウムで、柴田頭取が事業承継の取り組み事例を紹介しました。



ローン

2018年3月末の個人のお客さま向けローンの残高は3兆1,158億円で、住宅ローンを中心に、2017年3月末より1,707億円増加しました。



- ローンの内訳
 - 住宅ローン
 - 無担保ローン
 - その他(資産形成ローン等)
 - うち静岡県内
 - 住宅ローン
 - 無担保ローン
 - その他(資産形成ローン等)
- ※「住宅ローン」はアパートローンを含む。

非対面チャネルを拡充 ~ご来店いただかなくてもご利用いただけます~

「ダイレクトローンセンター」の設置

2018年4月3日



ローンの受付から実行までを一貫して対応するため、お客さまはご自宅等でお手続きを完結させることができます。

なお、「お申込後の相談や契約は店頭で」というお客さまには、営業店と連携したサービスの提供も行います。

- 【取扱商品】住宅ローン(カスタムズプラン)フリーローン(不動産担保型) 順次取扱商品を拡大します
- 【営業時間】平日9時~17時(電話受付)

フリーローン(不動産担保型) 取扱対象エリアを全国に拡大

2017年12月20日

これまで営業エリア内に限定していた「フリーローン(不動産担保型)」の取扱対象エリアを全国に拡大しました。

【資金使途】

- フリーコース/自由(事業性資金を除く)
- 不動産関連コース/賃貸物件や土地・居宅・セカンドハウス等の不動産購入資金および借替資金

ご利用の流れ

- 事前審査
 - 申込書受付
 - 契約書受付
- (インターネット) (郵送) (郵送)

「しずぎんビジネスquickローン(法人用)」の取扱を開始

2017年12月11日

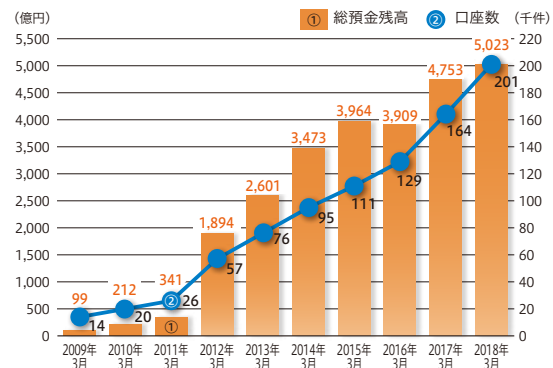
これまでの個人事業者にくわえ、法人向けの専用ローン(事業性資金)商品を追加しました。インターネットでのお申込で、これまでお取引のないお客さまもご来店いただくことなくご利用いただけます。

- 【資金使途】事業資金(運転資金・設備資金・借替資金)
- 【融資金額】50万円以上500万円以内
- 【融資期間】10年以内
- 【取扱店】ビジネスステーション静岡支店

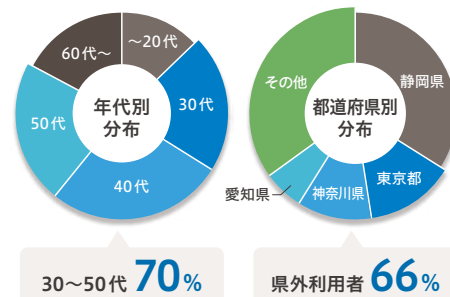


インターネット支店

インターネット支店の預金残高・口座数推移



顧客構成 (2018年3月)



インターネット支店では、口座開設のペーパーレス化や投資信託取引のオンライン化など、より便利で身近にお使いいただけるよう、機能の改良、拡張に取り組んでいます。また、NTTドコモが提供する「dポイント」を活用したキャンペーンなどを展開、全国のお客さまにご利用いただいています。2018年3月には若年層の方により長くご利用いただくために、契約年齢を17歳から15歳に引き下げました。



スマートフォンアプリ「しずぎんSTATION」がさらに便利に

いつでもどこでもスマホで残高確認



知って得する暮らしの情報をお届け

住宅ローンや資産運用方法など、お客さまのライフステージの変化に合わせて最適な金融サービスの情報をお届けします。

- 家計管理
- 資産運用
- 税金・社会保障
- 賢い買い物
- 住宅
- 仕事
- 年金・相続

アプリ限定の特典をプレゼント



金利上昇せ定期預金やローンの金利割引、グルメクーポンなど、アプリ限定のお得な特典をご案内します。



[家計簿ボタン]から



に連携

地方創生

～地域社会の持続的成長に向けて

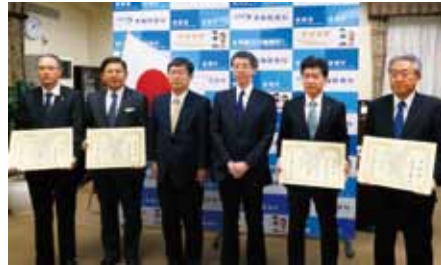
地方創生への取組事例が表彰される ～2年連続2事例～

2018年2月22日

昨年に続き地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」として、まち・ひと・しごと創生本部事務局（内閣官房）から表彰されました。2年連続で2つの事例が認定されたのは静岡銀行のみです。

[表彰対象となった事例]

- **しずおかキッズアカデミーの開催**
～地域の魅力を学び郷土愛を醸成する機会の創出
- 「地方創生カレッジ」を活用した地域における地方人材育成



しずおかキッズアカデミー ～いつまでも胸を張って郷土の魅力を伝えるために～

地域の子どもたちが自分の生まれ育った「ふるさと」の魅力を楽しく学び、郷土愛を育むとともに、将来的にふるさに定住・定着し、地域を担う人材へと成長することを目的に開催しています。2016年8月にスタートして以来、これまで静岡県内各地で8回開催し約1,250名が参加しています。

2018年3月4日

静岡産業大学「BiViキャン」(藤枝市)



[テーマ]
ロボットの未来を
知ろう!

[テーマ]
富士山
世界遺産センターで
富士山講座!



2018年3月11日

静岡県富士山世界遺産センター
(富士宮市)



第6回しずぎん起業家大賞

地域経済の新しい時代を切り拓くフロントランナーとして、革新的・創造的な事業に取り組む起業家を応援しています。2017年度は176件の応募がありました。



新技術は既存技術の組み合わせのアイデアから作られるのです。

最優秀賞

株式会社エイディーデー

「マイナス100℃以下の氷を使用した鮮魚輸送のコストダウン化」



地域密着取組賞

山崎繁幸氏

「生産者と消費者を近づける」
Shizuoka BBQ TERRACE

女性起業家賞

三輪早苗氏

「育児休業中従業員
コミュニケーション
プログラム」



優秀賞

● WAMazing株式会社
訪日旅行者向けスマホアプリ

● 川島正光氏
GABAを富化した米の開発

● QUICCO SOUND株式会社
Bluetooth技術のライセンス提供および、OEM生産

● 株式会社ハイタック
ガンドリルマシンによる小径深孔加工



オブザーバー賞

● 株式会社イージステクノロジーズ
「高精度次世代型測定分析システム」の研究、開発

● 学生アイデア賞
加藤正純氏 (沼津工業高等専門学校)
音響分析を用いた廉価な工場IoTパッケージの提供

シニアアイデア賞

● 株式会社コクショウ
高い耐久性と柔軟性を兼ね備えた新しい畳

「しずぎん7号投資ファンド(愛称:躍進)」を静岡キャピタル(株)と共同で設立

2017年12月8日

株式上場を指向するベンチャー企業、医療・介護、環境、AI、ロボット等を中心とした成長分野への取り組み、事業承継などを支援する投資を行います。

これまでの投資ファンド

	1号	2号	3号	4号	5号	6号
設立時期	1996年2月	2001年8月	2005年6月	2007年1月	2011年11月	2015年3月
総資金量	5億円	10億円	10億円	10億円	10億円	10億円
投資社数	16社	27社	30社	20社	24社	21社

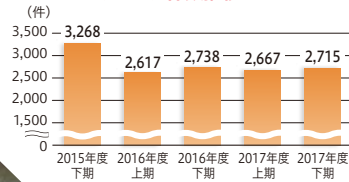
地方創生 地域の産業振興をサポート

～地域経済の活性化に向けたソリューションの提供

ビジネスマッチング

お取引先のニーズに応じた販売先・仕入先等を紹介するビジネスマッチングに積極的に取り組んでいます。

ビジネスマッチング件数推移



スーパーマーケット・トレードショー2018

～国内最大級の食品展示会への出展をサポート～

【開催日】2018年2月14～16日
【開催場所】幕張メッセ(千葉市)



全国から2,197社・団体が出展、約9万人の来場者を集めた国内最大級の食品展示会に、静岡県、静岡産業振興財団と合同で「ふじのくに静岡夢街道」を組成し、お取引先49社が出展しました。

神奈川・静岡県境地方創生連絡会

2016年6月に静岡銀行と横浜銀行が締結した「富士・箱根・伊豆地域の観光振興に関する協定」を契機に、同年10月に設立。県境を越えた観光振興に取り組んでいます。

県境のない地図 Vol.2
「富士・箱根・伊豆サイクリングマップ」を作成



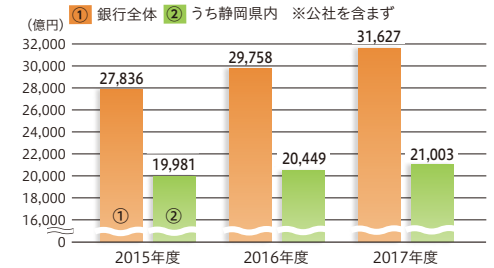
事業性評価

地域経済の現況や産業の見通しを踏まえて、お客さまの成長の可能性や事業の将来性を適切に評価する「事業性評価」を重視した融資を通じて「お客さま」や「地域」の発展を支えています。

主な実績

	2017年度実績
事業性評価用コベナンツ付融資 将来性やキャッシュフローを重視	177件 / 210億円
しずおか創生・地域企業応援ローン 地域資源の活用や雇用拡大をサポート	90件 / 250億円
ABL(資産担保融資) 在庫や動産の価値に着目した融資	52件 / 94億円
経営サポート資金・ターンアラウンド資金 経営改善・事業再生をサポート	112件 / 26億円

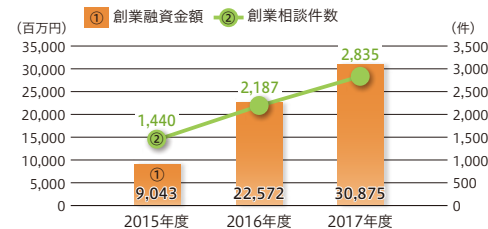
中小企業向け貸出金残高(平残)の推移



創業・新事業支援

地域に「仕事」を創出する創業・新事業を支援するため、県内の商工会議所をはじめ、地域の創業支援施設と連携してサポートを行っています。

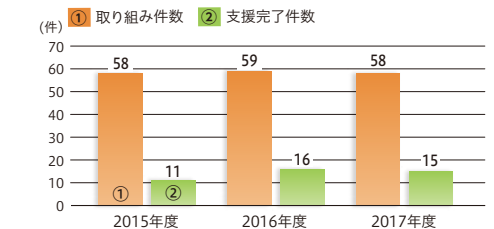
創業支援



経営改善・事業再生支援

静岡銀行グループでは、お客さまの経営状態に応じて、中小企業再生支援協議会などの外部機関などと連携して事業再生のサポートを行っています。

事業再生支援取り組み件数



「しずおか観光活性化ファンド」 投資第5号

～静岡県西部地域で初の投資～

【実施日】2018年3月29日
【投資額】5,000万円(社債引受)

○投資先の概要

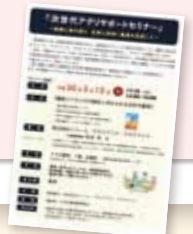
【企業名】株式会社 ぬくもり工房
【代表者】高橋 秀幸
【事業内容】建設工事(店舗・住宅等)
観光施設運営(ぬくもりの森)



農業事業者を対象に 「次世代アグリサポートセミナー」を開催

2018年3月12日(静岡市)

農業事業者の経営力向上や農産品の販路開拓支援を目的に開催。近年、注目されている国際認証規格「グローバルGAP」に焦点を当て、食品の安全性や小売業の動向などについて解説しました。



～経営者としてのスキルを磨き、生涯の友人と出会う場所～

2017年度の活動実績 参加人数のべ **1,650人**

内容	開催実績
全体フォーラム	1回
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	17回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	34講座58回
エグゼクティブ	2講座 7回
ミドル	7講座25回
ベーシック	25講座26回
視察会 (体験を通じ知見を広める)	1回

2017年度全体フォーラム
基調講演「中国をめぐる内外情勢」 Forum
フォーラム

開催日 2018年2月26日
講師 防衛大学校長 國分 良成 氏



講座 **地に足がついた地方創生を企画する**

開催日 2018年2月21日 静岡
3月5日 沼津
3月12日 浜松

講師 明治大学 特任准教授
株式会社 シンクデザイン
代表取締役 樋渡 雅幸 氏

Seminal
ゼミナール



参加者の声

- 実例を交えた話がわかりやすかった。
- 地域活性化を考えるうえで新たな視点をもつことができた。
- 他の参加者とさまざまな意見交換をする良い機会となりました。

「しずぎんアジア留学生奨学金制度」の奨学生が68人に

2018年3月16日

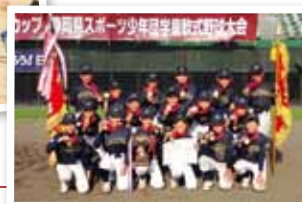
静岡県とアジア各国との架け橋となる人材の育成を目的とする「しずぎんアジア留学生奨学金制度」では、第7期生として7名を選定。制度を始めてからの奨学生は68名となりました。奨学金は、一人あたり月額10万円(返還義務なし)を原則として2年間支給します。



コーポレート・フィランソロピー



- しずぎんカップ静岡県ユースU-11サッカー大会
- しずぎんカップ静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会



スポーツ大会の支援

● **少年サッカー**

11歳以下の静岡県チャンピオンを決める「しずぎんカップ静岡県ユースU-11サッカー大会」や、全国各地から子どもたちが清水に集う「全国少年少女草サッカー大会」に協賛しています。

● **少年野球**

静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会に「しずぎんカップ」として協賛しています。



● 第22回 林家たい平・林家たけ平二人会 (2017年10月 静岡市)



しずぎんカルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」

落語会の開催を通じて、地域の皆さまに、笑顔あふれるひとときをお届けしています。



静岡交響楽団を応援しています

● クラシック・ポップスコンサート (2018年5月しずぎんホールユーフォニア)



● 第65回 三浦文彰 (2018年3月 静岡市)

しずぎんユーフォニア・コンサート

国内外の一流アーティストの演奏を地域の皆さまにお楽しみいただいています。

金融経済教育

常葉大学、静岡産業大学で「金融講座」を開講し、地域金融機関が静岡県経済に果たす役割などを解説。このほか県内各地の学校等でも、随時金融や経済に関する教育を実施しています。



● 常葉大学金融講座



全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」静岡大会

22チーム・44名が白熱した戦いを繰り広げ、長泉町の知徳高校チームが優勝。全国大会に出場し7位に入賞しました。

公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」

静岡県内で環境保全活動に取り組んでいる個人や団体に助成金を支給しています。2017年度は27先に対し合計300万円の助成を行いました。これにより、1993年の基金設立以来の助成先はのべ571先、助成金の総額は7,220万円となりました。



しずぎん「ECO口座」で環境保全に寄与

2018年4月20日

通帳を発行しない「Web総合口座」、インターネット支店専用口座「WebWallet」の2商品を「しずぎんECO口座」と総称し、通帳の削減費用の一部を認定NPO法人富士山世界遺産国民会議が運営する「富士山基金」に寄付する取り組みをはじめました。



「しずぎんエコアイデアコンテスト」を開催

地域の将来を担う子どもたちへの環境教育の一環として、静岡県内の小学生から環境改善に役立つアイデアを募集しました。2017年度（第6回）では、独創性に富んだ690件の応募がありました。



「健康経営優良法人2018 ～ホワイト500～」に認定

2018年2月20日



経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」で、働きやすい環境づくりや従業員による健康づくりの支援が評価され「健康経営優良法人2018（大規模法人部門）～ホワイト500～」に認定されました。

女性が活躍する職場をめざして

静岡銀行の行動計画

〈計画期間〉2016年4月1日～2021年3月31日

〈数値目標〉指導的地位にある女性比率を20%以上とする

〈取組内容〉○人事異動等による女性の積極登用

- 法人担当・本部企画セクション等への積極的な配置
- キャリア開発・マネジメント能力向上を目的とした研修等の実施
- ワークライフバランス支援制度の拡充



指導的地位にある女性の比率

2015年度	2016年度	2017年度
13.0%	14.1%	15.0%

異業種企業との「女性交流会」を開催

2018年2月23日

女性の活躍推進および地域人材との交流・育成を目的として、ヤマハ、ヤマハ発動機、遠州鉄道と共同で「第4回女性交流会」を開催。講演に続いて「10年後の目指す姿」をテーマに活発な意見交換を行いました。



新しい店舗をご紹介します



広見支店
2017年12月4日 移転オープン



川崎支店
2017年12月13日 新規オープン

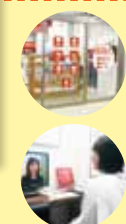


網島支店 (アピタテラス横浜網島2階)
2018年3月28日 新規オープン

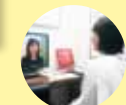


蛸塚支店
2018年5月16日 リニューアル

蛸塚支店はコンサルティング業務の強化をめざしてさまざまな設備を整えています



●ほけんの窓口@しずぎん
保険の専門スタッフが、保険に関する疑問や不安の解決をお手伝いします。



●静銀ディーエム証券（蛸塚相談ブース）
テレビ電話を利用して静銀ディーエム証券の担当者と直接ご相談いただけます。



●コンサルティングスペース
じっくり落ち着いてご相談いただける応接や相談スペースをご用意しています。



●インターネットコーナー
スマートフォンやパソコンで銀行取引ができるインターネットバンキングをご体験いただけます。

第112期 営業のご報告

企業理念 地域とともに夢と豊かさを広げます。



静岡銀行の概要 2018年3月31日現在

設立	1943年3月1日
資本金	908億円
貸出金	8兆2,874億円
預金	9兆5,397億円
総資産	11兆5,035億円
連結自己資本比率	15.95%(うち普通株式等Tier1比率 15.95%)
従業員	2,857人
本店	静岡市葵区呉服町1丁目10番地 TEL(054)261-3131
店舗数	205店舗 静岡県内 172(本支店152・出張所20) 静岡県外 30(支店25・出張所5) 海外 3(支店3)

(注)記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

○ 邦銀トップ水準の格付 2018年6月1日現在

静岡銀行は「ムーディーズ社」など国内外の3つの格付機関から、日本の大手銀行・地方銀行等のなかでトップ水準の格付を取得しています。

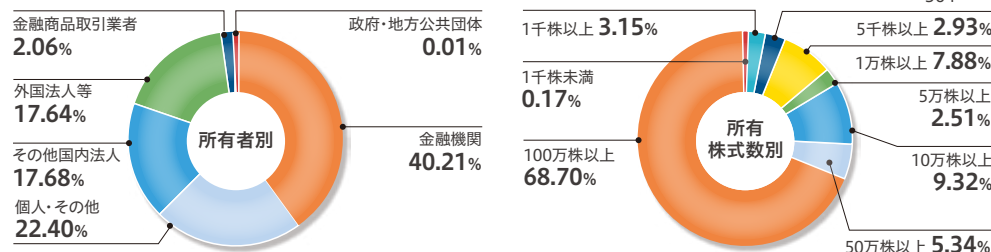
	長期格付
ムーディーズ	A1
スタンダード&プアーズ	A+
格付投資情報センター	AA

○ 株式情報 2018年3月31日現在

株式の状況	株主数	20,928名 (2017年3月末比241名減)	発行済株式の総数	645,129,069株
			保有自己株式数	51,304,301株 ※

※2018年5月31日、30,000,000株の消却を実施

株式の分布状況(単元未満株式を含む)



2018年4月1日に単元株式数を1,000株から100株に変更し、投資単位を引下げました。

○ 株主還元状況 DATA.01

- 第13次中期経営計画期間(2017~2019年度)における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%程度」に則り、業績などを総合的に勘案し、2017年度の1株当たり配当額は、期末配当金を公表比+1円の11円とし、年間21円とする予定です。
- 2018年度の1株当たり配当額(年間)は、2017年度期末配当金(11円)を継続し、22円を予定しています。

配当額の推移 ()は中間配当額

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度予想
1株当たり配当額(年間)	16円	20円	20円	21円	22円(11円)
配当利回り(配当/期末株価)	1.33%	2.46%	2.20%	2.08%	—

株主への利益配分の状況

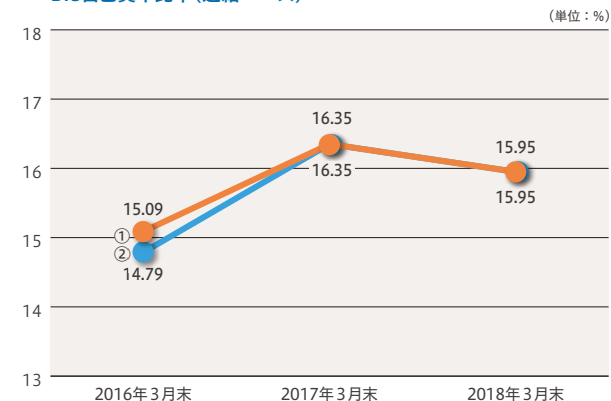
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2013~2017年度実績(5年間)
年間配当額①(億円)	99	123	122	125	566(累計)
自己株式取得額②(億円)	113	70	85	97	592(累計)
株主還元額③=①+②(億円)	212	193	207	222	1,158(累計)
当期純利益④(億円)	426	440	244	434	1,972(累計)
配当性向①/④×100(%)	23.24	27.91	49.83	28.74	28.69(平均)
株主還元率③/④×100(%)	49.82	43.82	84.60	51.16	58.70(平均)

○ 健全性を示す「自己資本比率」(国際統一基準) DATA.02

自己資本比率<国際統一基準>は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

2018年3月末のBIS自己資本比率(連結ベース)は、15.95%、また普通株式に係る株主資本等を中心とした普通株式等Tier1比率は15.95%となりました。

BIS自己資本比率(連結ベース) (単位: %)

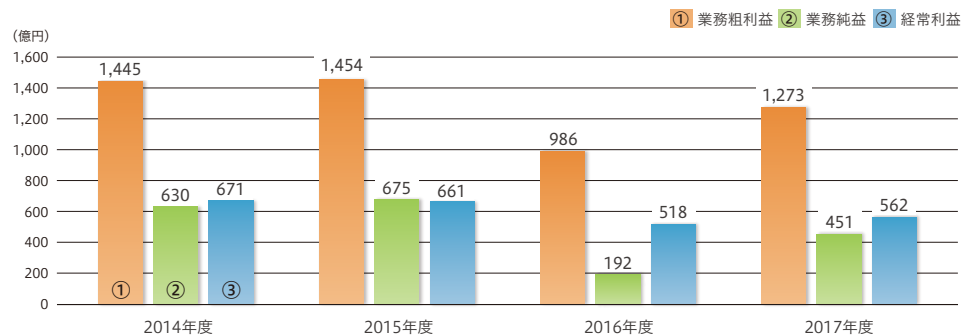


- ① BIS自己資本比率
- ② 普通株式等Tier1比率

○ 業務粗利益・業務純益・経常利益の推移(単体ベース)

DATA.03

2017年度は、貸出金利息の増加、国債等債券関係損益の改善を主因に業務粗利益ならびに業務純益が増益。経常利益についても、株式等売却益が減少したものの、貸倒引当金戻入益の計上等により増益となりました。



主な経営指標(単体ベース)

(単位: %)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	前年度比
ROE(当期純利益)	5.06	4.96	2.76	4.75	1.99
ROA(当期純利益)	0.41	0.41	0.22	0.40	0.18
OHR(経費/業務粗利益)	56.42	54.65	80.34	64.55	△15.79
1株当たり当期純利益(円)	68.46	71.42	40.04	72.52	32.48

(注) 1.前年度比は、表上で算出しています。
2.ROE(当期純利益)は決算短信ベースにて算出しています。
3.2017年度の連結ベースROE(当期純利益・決算短信ベース)は5.21%です。

ROE
[Return on Equity・自己資本利益率]

自己資本を使ってどれだけ利益をあげたか(資本の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

ROA
[Return on Assets・総資産利益率]

総資産を使ってどれだけ利益をあげたか(資産の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

OHR
[Over Head Ratio・経費率]

一定の業務粗利益を得るためにどれだけ経費をかけたかを示す指標です。この値が低いほど効率性が高いことを示します。

○ 有価証券評価損益の状況

DATA.04

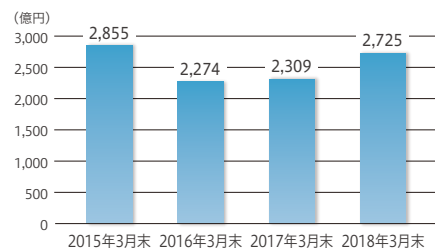
2018年3月末の株式・債券等の有価証券評価損益は+2,725億円と2017年3月末に比べ416億円増加、うち株式評価損益は+2,654億円と2017年3月末に比べ426億円増加しました。

(注)満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式を除きます。

日経平均株価

2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末
19,206.99円	16,758.67円	18,909.26円	21,454.30円

有価証券評価損益(単体ベース)

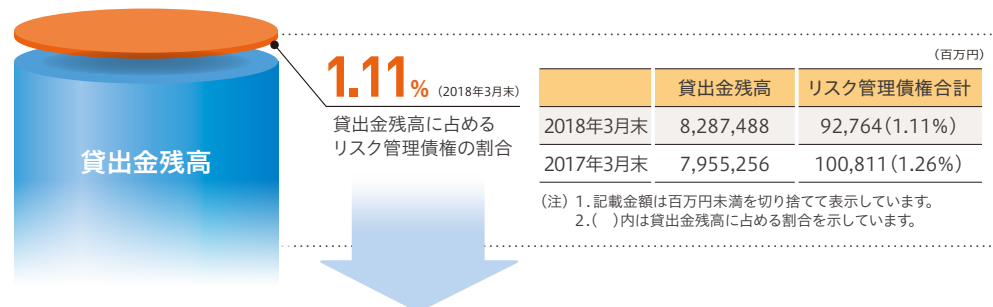


○ リスク管理債権等の状況

DATA.05

リスク管理債権の状況(単体ベース)

2018年3月末のリスク管理債権の総額は928億円、貸出金残高に占める割合は1.11%と2017年3月末に比べ減少しました。また、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は87.12%となっています。なお、リスク管理債権から部分直接償却額60億円、信用保証協会の保証付貸出金415億円、担保・引当金等334億円を控除した実質的なリスク管理債権は119億円で、貸出金残高に占める割合は0.14%です。



(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2.()内は貸出金残高に占める割合を示しています。

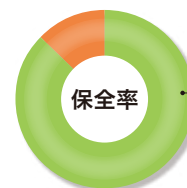
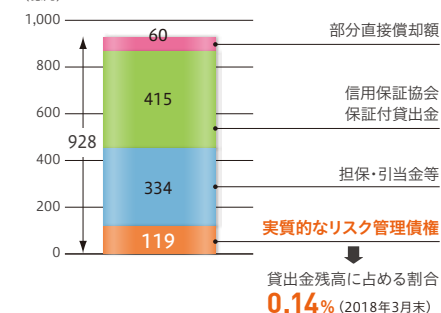
リスク管理債権の内訳

(百万円)

破綻先債権額	4,042 (0.04%)
延滞債権額	76,225 (0.92%)
3カ月以上延滞債権額	349 (0.00%)
貸出条件緩和債権額	12,115 (0.14%)

実質的なリスク管理債権

(億円)



金融再生法開示債権の状況(単体ベース)

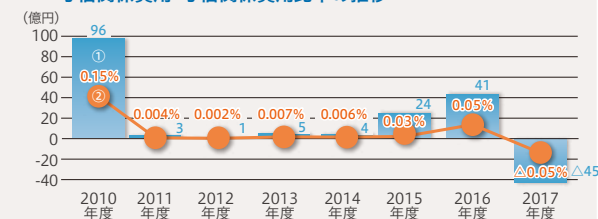
2018年3月末の「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」施行規則にもとづく開示債権の総額は930億円、総与信残高に占める割合は1.10%、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は87.14%となっています。

与信関係費用の状況(単体ベース)

2017年度の与信関係費用は△45億円、与信関係費用比率は△0.05%となりました。

- ① 与信関係費用
= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益
- ② 与信関係費用比率
= 与信関係費用 / 貸出金平残

与信関係費用・与信関係費用比率の推移



決算情報 しずぎんの決算(連結・単体)をお知らせします。

(単位: 百万円)

貸借対照表(連結)

科目	2017年度末	科目	2017年度末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	1,051,482	預金	9,474,374
コールローン及び買入手形	200,599	譲渡性預金	150,560
買入金銭債権	41,770	コールマネー及び売渡手形	69,661
特定取引資産	19,429	売現先勘定	104,080
金銭の信託	3,700	債券貸借取引受入担保金	68,589
有価証券	1,597,906	特定取引負債	7,499
貸出金	8,263,507	借入金	283,200
外国為替	8,968	外国為替	3,888
リース債権及びリース投資資産	65,983	新株予約権付社債	84,992
その他資産	122,820	信託勘定借	228
有形固定資産	71,228	その他負債	127,043
無形固定資産	36,637	退職給付に係る負債	20,199
退職給付に係る資産	9,838	役員退職慰労引当金	325
繰延税金資産	2,382	睡眠預金払戻損失引当金	1,166
支払承諾見返	76,894	偶発損失引当金	1,505
貸倒引当金	△40,372	ポイント引当金	353
投資損失引当金	△54	特別法上の引当金	11
		繰延税金負債	65,340
		支払承諾	76,894
		負債の部合計	10,539,915
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		利益剰余金	702,591
		自己株式	△52,183
		株主資本合計	796,137
		その他有価証券評価差額金	194,349
		繰延ヘッジ損益	561
		為替換算調整勘定	△2,697
		退職給付に係る調整累計額	2,715
		その他の包括利益累計額合計	194,928
		新株予約権	350
		非支配株主持分	1,392
		純資産の部合計	992,808
資産の部合計	11,532,724	負債及び純資産の部合計	11,532,724

損益計算書(連結)

科目	2017年度
経常収益	224,091
資金運用収益	127,140
(うち貸出金利息)	99,585
(うち有価証券利息配当金)	23,560
信託報酬	2
役務取引等収益	64,485
特定取引収益	3,623
その他業務収益	4,971
その他経常収益	23,868
経常費用	158,252
資金調達費用	16,415
(うち預金利息)	7,880
役務取引等費用	34,574
その他業務費用	5,219
営業経費	92,871
その他経常費用	9,170
経常利益	65,839
特別利益	6,263
特別損失	472
税金等調整前当期純利益	71,630
法人税、住民税及び事業税	18,360
法人税等調整額	3,102
法人税等合計	21,463
当期純利益	50,167
非支配株主に帰属する当期純利益	36
親会社株主に帰属する当期純利益	50,130

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

決算情報の開示について

静岡銀行では、経営内容や業績などをお知らせするため、決算情報をホームページに掲載しています。

<http://www.shizuokabank.co.jp/ir/financial/index.html>

貸借対照表(単体)

科目	2017年度末	科目	2017年度末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	1,041,112	預金	9,539,769
コールローン	200,599	譲渡性預金	156,460
買入金銭債権	41,770	コールマネー	69,661
特定取引資産	19,392	売現先勘定	77,964
金銭の信託	3,700	債券貸借取引受入担保金	68,589
有価証券	1,615,589	特定取引負債	7,502
貸出金	8,287,488	借入金	257,936
外国為替	8,844	外国為替	3,889
その他資産	96,175	新株予約権付社債	84,992
有形固定資産	67,092	信託勘定借	228
無形固定資産	36,885	その他負債	97,768
前払年金費用	5,813	退職給付引当金	18,573
支払承諾見返	115,510	役員退職慰労引当金	115
貸倒引当金	△36,386	睡眠預金払戻損失引当金	1,166
投資損失引当金	△54	偶発損失引当金	1,505
		ポイント引当金	305
		繰延税金負債	63,534
		支払承諾	115,510
		負債の部合計	10,565,475
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		資本準備金	54,884
		利益剰余金	650,311
		利益準備金	90,845
		その他利益剰余金	559,465
		自己株式	△52,183
		株主資本合計	743,857
		その他有価証券評価差額金	193,179
		繰延ヘッジ損益	671
		評価・換算差額等合計	193,850
		新株予約権	350
		純資産の部合計	938,058
資産の部合計	11,503,533	負債及び純資産の部合計	11,503,533

損益計算書(単体)

科目	2017年度
経常収益	180,473
資金運用収益	128,218
(うち貸出金利息)	99,582
(うち有価証券利息配当金)	24,643
信託報酬	2
役務取引等収益	29,326
特定取引収益	769
その他業務収益	4,972
その他経常収益	17,184
経常費用	124,308
資金調達費用	16,676
(うち預金利息)	8,060
役務取引等費用	14,104
その他業務費用	5,219
営業経費	84,974
その他経常費用	3,332
経常利益	56,164
特別利益	6,263
特別損失	467
税引前当期純利益	61,961
法人税、住民税及び事業税	15,046
法人税等調整額	3,483
法人税等合計	18,529
当期純利益	43,431

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結子会社(12社)

- 静岡経営コンサルティング(株)
経営コンサルティング業務/代金回収業務
- 静岡リース(株)
リース業務
- 静岡コンピューターサービス(株)
コンピューター関連業務/計算受託業務

- 静岡信用保証(株)
信用保証業務
- 静岡ディーシーカード(株)
クレジットカード業務/信用保証業務
- 静岡キャピタル(株)
株式公開支援業務/中小企業再生支援業務

- 静岡ティーエム証券(株)
金融商品取引業務
- 静岡総合サービス(株)
人事・総務・財務関連業務
有料職業紹介業務

- 静岡モーゲージサービス(株)
銀行担保不動産の評価・調査業務
貸出に関する集中事務業務
- 静岡ビジネスクリエイト(株)
為替送金・代金取立等の集中処理業務
労働者派遣業務

- 欧州静岡銀行
銀行業務/金融商品取引業務
- Shizuoka Liquidity Reserve Limited
金銭債権の取得

持分法適用関連会社(3社)

- 静岡ゼンカード(株)
クレジットカード・プリペイドカード業務/信用保証業務
- マネックスグループ(株)
金融商品取引業務等を営む会社の株式の保有
- コモンス投信(株)
投資運用業務、投資信託販売業務

※2018年3月31日現在



SHIZUOKA BANK

静岡銀行

<http://www.shizuokabank.co.jp/>



この印刷物には、環境に配慮した
植物油インクを使用しています。

本誌は、静岡県が制定した「カラーユニバーサルデザインのための指針」を参考に編集しています。